

平成 30 年度  
自己評価・学校関係者評価

教育目標	「心豊かにたくましい子どもを育てる」 「人を思いやる豊かな心を形に・・・」を念頭に基本的な生活習慣を身につける
------	--

※自己評価は 4 段階評定 自己総合評価及び学校関係者評価は ABC 評価にて評定

1. 教育目標について

評価項目	自己評価		学校関係者評価	
	評価	総合評価	評価	評価理由
教育目標を理解し子ども達に指導することができた。	4	A	A	教職員の教育目標に対する意識は非常に高く、一生懸命指導する姿勢は、意思統一の結果であると高く評価できます。「人を思いやる豊かな心を形に・・・」を教職員一人一人が、実践する姿勢が各所に見られ、教育の基本的な部分での質の高さを感じます
子ども達が元気よく挨拶が出来るようあらゆる場面で指導した。	4			
明るく元気な子どもの育成に努めた。	4			
子ども達一人一人の特徴を観察し尊重することができた。	4			
毎日の活動で社会的な生活習慣を身につける為の指導は十分に行った。	4			

2. 教育計画について

指導計画作成にあたり、子どもの成長状況を把握し配慮している。	3	B	B	数年前からの教育活動が良好に進み、高い質で構築されています。その為、活動への安心感と慣れによる計画の見直しが若干疎かになっている傾向を危惧します。問題ない活動が実施されているうちに、新たな教育活動への挑戦を期待します。現在の計画内容に問題があるということではありません。
指導計画作成には、園の教育方針が生かされている。	4			
指導計画の内容は、過去の計画に左右されず現実にマッチしている。	3			
指導計画には、教育内容に対する自身の考えを十分盛り込んで作成した。	3			
行事等の計画とその運営は適切であった。	3			
計画の変更は、状況により随時行えるよう順応性を考慮している。	4			

3. 教育活動について

子ども達に多くの体験をさせる為の工夫は十分に行った。	4	B	A	毎日の教育活動では、積極的な活動が見られ良好な活動が実施されていると考えます。活動内容も一定の効果を生み、子ども達の成長も見られます。子ども達の興味を誘う活動は教職員の苦心を感じ評価できます。事前準備を万全に、一層の効果ある活動を期待します。
生活習慣の指導について、一人一人を観察し対応している。	3			
子どもの自主性に配慮し、押付の指導は行わない。	3			
子ども達の発達状況を把握している。	3			
子ども達が興味をもてるような活動内容を常に考え実践している。	4			
教育効果を高める為の事前準備は万全である。	3			

4. 保健・安全について

子どもの視診は、登園時及び降園時に必ず行っている。	4	A	A	安全に対する意識の高さは非常に高く、問題点はないと思われま。生活習慣の指導が徹底され手いるためか、インフルエンザ等の発生率は低い結果があります。また、教職員の健康管理についても、自らの注意により、欠勤率も非常に低く、皆勤傾向です。この点でも評価できます。
危険回避の為に危険個所の把握に努めている。	4			
安全管理について、年齢に応じた言葉や方法で指導を行った。	4			
うがい・手洗い等の基本的な生活習慣の習慣化が図れた。	4			
万一に備え、事故発生時の対応を確認している。	4			
自らも体調管理には十分注意している。	4			

5. 学級経営について

子どもの気持ちを理解し十分に遊びに係わった。いっしょに遊んだ	4	A	A	クラス運営には、責任感があります。「子ども達のために」を全面に、献身的な対応は保護者の支持を受けています。子ども達一人一人としっかりと向き合い、全力で関わります。子ども達も、担任だけではなく、全ての先生が大好きのように見え、信頼感もあります。
クラスをまとめ全員が仲良く楽しく生活できるよう工夫している。	4			
子どもの気持ちに十分配慮し個人を尊重した指導を行っている。	4			
子ども達とのスキンシップは、一人一人全員に十分行っている。	4			
子どもの話をしっかり聞くよう心がけ実行している。	4			
教師としての品格を心がけた言葉や態度で子ども達に接している。	4			

6. 研修について

研修には常に自らのテーマを持って積極的に参加している。	3	B	A	日々の活動を見ると、研修にも真剣に参加し技術の習得に努めていると推察出来ますが、本人は特別な意識は無いようです。当たり前となっているように思われます。多忙日々ではありますが、今後も多くの研修機会を持つよう期待します。
研修に参加するのは楽しい。	3			
自らが進んで研修会を選択し参加することで自己研鑽に努めた。	3			
研修で得た内容が毎日の教育活動及び私生活に生かされた。	3			
今後研究したい課題やテーマがある。	3			

7. 保護者・地域との関り

子どもの成長について保護者との連携は十分に行っている。	3	B	A	保護者との係わりには、積極的に望みます。できる限り丁寧に説明し理解を求め、子どもの成長を共に願っています。意思疎通の活動が保護者との信頼関係を高めています。未就園児のサークル活動も毎回思考を凝らし満足されるように考えての活動には努力が感じられます。
担当するクラスの保護者との意思の疎通が十分に図れている。	4			
保護者のクレーム・相談等には園を代表する意識で誠実に対応している。	4			
現在の園と地域との関りは十分だと思う。	4			
地域の主催する行事には積極的に参加している。	3			
「ミッキー広場・ココサークル」の内容は保護者ニーズに即したものであった。	4			

8. その他

自らが求める教師像に向かって努力した。	4	A	A	梨花幼稚園の一員であるという意識は、多くの教職員にあります。自らが代表する教職員であるという自覚は、各所に相乗効果を生みます。今後も、現状に満足することなく、マンネリ防止に務め新たな教育内容構築に期待します。
梨花幼稚園（組織）の一員として協働することができた。	4			
私生活を含め常に教師としての自覚と責任を意識している。	4			
職務のマンネリ化防止に努めている。	3			
子どもに要求することは自らも実行している。	4			
備品・消耗品等の効率よい使用を考えて実行している。	3			

平成 31 年 3 月 9 日

当評価委員会は、提出された自己評価及び総合評価表等について、現状を踏まえ評価を行い以上の通り報告いたします。

学校法人 鷺巣学園 学校関係者評価委員会  
議長 増田 陽子 